市報 12.10 TOKAMACHI 平成24年(2012) December 第185号

とおかまち

雪里の恵み。み～つけた!

11月23日(勤労感謝の日)に開催された美人林の保全活動で、ブナの実を見つけた女の子。森の学校キョロロの研究員が「このブナの実はね…」と、一つの発見から自然の営みの仕組みを伝えています。キョロロは、豊かな自然の中での体験を通じた学びを提供しています。

主な内容

特　集
- 雪里の魅力とキョロロの取組み …… 2-7

ピックアップニュース
- 雪処理に注意／第64回十日町雪まつり …… 8-12
- まちづくりアンケート結果／地域おこし協力隊紹介 …… 13-15
- 年末年始の業務／十日町なか元気プロジェクト …… 16-17

お知らせ・ガイド …… 18-21

連載コーナー
- ときめきネットワーク／歴探 ほか …… 22-23
- 元気予報／ぐるり中里宝さがし ほか …… 24-25

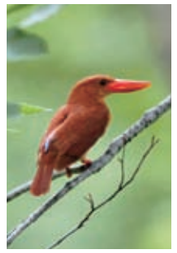
タウントピックス …… 26-27

ジュニア芸術祭 …… 28

特集　松之山地域

「森の学校」キョロロ。で雪里（ふるさと）山の魅力み～つけた！

―体験で育む。地域づくりのための価値の創造―



季節によってさまざまなプログラムを提供。豪雪体験（写真左上）、農業体験（写真右上）、自然観察（写真右下）のほか、森を育む活動（写真左下）も行っています。写真下中央は施設名の由来ともなった「キョロロロロー」と鳴くアカショウビン

人と自然が、互いに恩恵を受けながら共存している「里山」。十日町市は、日本の原風景とも言われている里山が、今も色濃く残っています。この里山での、太古の昔から受け継がれてきた自然や農業、そして生活の中での知恵や文化は、そこにある資源を活用したなりわいであることから、これからの持続可能な社会のモデルになると言われています。

「森の学校」キョロロは、市内でも多くの里山が残る松之山にあります。ここでは、体験を通して里山と向きあい、価値の創造につながる学び・気づきを提供しています。そして、学びから実践へ、さらに産業創出・活性化へつなげる「地域づくり」を目指しています。

「里山」の価値を振り返り、キョロロを通じた地域づくりの可能性を探ります。

地域づくりは、地域を知る（学ぶ）ことから

体験を通して価値を創造する。それがキョロロの役目。

「森の学校」キョロロ
案内人（館長）
村山　暁さん

里山は、人間と自然の長い歴史の中で作り上げられた環境です。森だけでなく、水辺や田畑があり、生活のための整備がされています。そこにさまざまな生き物が適応した結果、今の里山の生態系が出来上がっていて、それは、まさしく農村文化そのものです。

ただ、当地域と他地域の里山の決定的な違いは、「日本有数の豪雪地帯」といわれるほど、多量の雪と向き合いながら暮らしているということです。雪に埋もれる自然の中で育まれた、この地域ならではの文化があります。キョロロでは、雪のある里山を「雪里（ゆきさと）」と呼んでいます。

雪は、生活に多くの苦労を負荷しますが、同時に多くの恵みももたらしてくれます。雪の中での語らいは絆（きずな）を深め、雪があるからこそそれを克服して、さらに楽しもうとする知恵や気質が生まれます。また、雪がたくさん降るからこそ、このような低標高にブナ林があります。そんな「雪里」をキョロロから世界へ発信したいと考えています。

キョロロは、参加体験型の里山科学館です。人は、体験をすることで思い出や愛着が生まれ、地域に対する価値を育むことができます。知識は、時間が経てば失ってしまうかもしれませんが、体験を通じて得たものは忘れにくく、生涯、その人の財産になります。キョロロは、「体験」を通して雪里の価値を創造し、地域づくりにつなげていきます。

「森の学校」キョロロ
よろずや（管理人）
佐藤　一善さん

キョロロは学びを共有する場

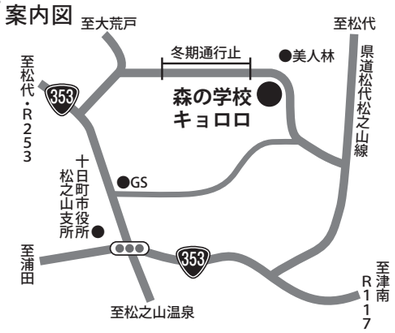
キョロロは、子どもから大人まで学べる場。体験中の何気ない会話から方言を知ることも学び、自分の地域との違いに気づくのも学びです。生活の中でも同じことが言えます。

私たちも、参加者から学ぶことも多くあります。人は、一人ひとりがアイデアや知恵を持っています。それを分かち合い、共有する場がキョロロなのです。

キョロロに行こう！キョロロで体験しよう！

- **開館情報**：午前９時～午後５時※入館は４時30分まで
  火曜日休館（火曜日が祝日の場合は翌日休館）。
  年末年始は12月25日㈫～31日㈪休館（１月１日（元旦）・２日㈬は開館）
- **入場料**：大人500円、小・中・高生300円
  ※幼児・市内の小・中学生は無料
- **問合せ**：☎595-8311

案内図



今こそ大切にしたい 雪 森 農 里

―キョロロが発信する。雪里の持続可能な循環型社会―

雪里は、さまざまな要素がつながり、めぐりながら成り立っています。そこで「雪」・「森」・「農」・「里」の4つの要素から、相互のつながりや私たちの生活との関係を考察します。

私たちの生活と切り離すことができない雪。雪はこの地域ならではの自然と文化を生み出してきました。昔は冬に山からまきなどをソリで運び出したり、雪を天然の冷蔵庫にしたりしました。時代が変わり、今は、雪下にんじんの栽培など産業にも活用されています。豊富な雪解け水は、森を通り、田畑や生活水に利用されるなど、私たちの生活に今でも欠かせません。

森は、雪解け水や雨を受け止め、時間をかけて河川へ流してくれます。流量を安定させ、洪水を防ぐ役目も担っています。棚田など十分な流量の川が近くにない土地での田畑では、ミネラルを多く含んだ水を安定して供給してくれる森の存在はとても重要です。また、豊かな土壌をつくり、多様な生き物が共存することで、きのこなどの副産物も生みだしてくれます。

冬の美人林でスノーシュー体験の案内をしたら、やぶこざきしたり雪ん中で寝っ転がったりと、すっごい喜んでくれたっけ。難儀な雪降ろしだって、雪国体験で募集すりゃ、喜んで来てくれら～ねろか。雪里の恵みを生かしてお客さんに来てもらうがを、キョロロといっしょに考えよての！

キョロロの森と美人林ってのは、緑の生産（木）・消費（虫）・分解（菌類）の3者が循環し、土がフカフカで実にいい森だんがのぉ。本物の自然だすけ、一番の財産だこっつぉ。キョロロに来りゃ、森の良さや不思議さがよく分かるすけ、なじょも来てもらって、森の良さを体感してくんねかい。

キョロロ応援団に聞く、私たちの〝だいじんがぁ〟

キョロロの体験活動を支える皆さんから見た、それぞれの「だいじんがぁ（大事なもの）」や活動を紹介します。

相澤　亨さん（小谷・73歳）
雪里のくらしや知恵を知りつくした達人

小口成一さん（松之山・71歳）
自然や植物を愛する自然観察の達人

雪や森の自然の恩恵を受けながら長い歴史とともに培われた農業。中山間地では、今も、地形に沿った田んぼや棚田が残っていますが、田んぼもまた豊かな自然環境を作るためには必要不可欠です。森とともに水を貯蓄・浄化し、地滑りを防ぎ、森にすむ生き物のえさ場となっています。また、農作業は、体験を通した学習の場としても優れています。

このように、雪の恵み、森の恵みによって私たちが住む地域、農ある里山の暮らしが成り立っています。それは、自然の流れに委ねるのではなく、積極的に手を加えながら、作り上げてきた環境です。いわば、積み重ねた知恵をもって、地域にある資源を有効に活用する持続可能な循環型の社会を築き上げてきたということです。

しかしながら、現在では、雪は変わらずに降るものの、森の利用がされなくなり、田んぼの耕作面積は年々減り続けています。互いの関係を保ちながら成り立っていたものが、一つでも失われてしまったら、雪里は大きく変化してしまうかもしれません。

キョロロの田んぼは、無農薬でブナ林の清水で育ててるんだんが、安全なお米だぜ。おまけに田んぼの中や周りは生き物がいっぱいで、子どもも楽しめるぜ。採れたお米はキョロロの食堂で使ってるっせ食べに来ての。自然栽培は容易じゃねでも、元気なうちはがんばるすけ！

里山は楽しいことがいっぺあるんだんが、ぜひ遊びに来てくんねかい。自然の恵みを享受する楽しさを、とことん紹介するっせの。ご希望とあらば、静かな美人林の中でオカリナの演奏もプレゼントするんだんが。とにかく「里山は、何より楽しい遊びの広場」だんがのぉ！

保坂　清さん（下川手・66歳）
里山を遊びの広場に変えてしまう達人

保坂廣一さん（下川手・76歳）
「キョロロの田んぼ」を管理する達人

キョロロは、研究を行いながら、雪里の価値を創造してもらう体験を提供しています。そして体験を通じた学びや気づきから、地域活性化・産業振興につなげるための活動を続けています。

特集

キョロロは雪里での地域づくりに取り組んでいます

―キョロロ専属4人の博士に聞く。キョロロを通じた学びと雪里への思い―

キョロロには博士号を持ち、市外から来た4人の研究員が在籍しています。それぞれが昆虫や植物などのエキスパート。そんな4人が松之山の雪里の魅力について語ります。

雪里から学ぶ人と自然との関係

アリ類の生態を中心に研究しています。アリは環境への適応力が高く、意外に種類が多い昆虫で、松之山には希少な種も確認されています。また、私のもう一つの研究に環境教育があります。この地域の人々は多様な雪里の自然をうまく利用して生活してきたことが印象的です。その生活を体験してもらうことで、これから自然とどう向き合っていくかについてさまざまなヒントを得ることができます。今後は自然や文化を活用したプログラムのほか、それらプログラムの教育的効果を研究していきたいと思います。

理学博士
岩西　哲（さとる）（36歳）

ブナを通じて雪里の恵みを実感

雪里をブナの生態からの側面で研究しています。例えば、熊の出没とブナの開花に相関関係があることが調査で分かり、早期の熊注意報を発信しました。また、ブナは5～7年周期で実の付け方を変えます。昨年は大豊作で、クロステンに協力しブナの実のスイーツを試作しました。キョロロ研究者は、地域活性化の要と言われる「よそ者」「若者」「ばか者（専門）」がそろっています。既存の考えにとらわれずに新しい見方を発見するために皆さんと共に活動し、発信していきたいと思います。

環境科学博士
小林　誠（32歳）

地域の人といっしょに楽しく学ぶ

外来植物を専門に研究しています。例えばブナでも、その土地固有のものでない「国内外来種」がこの地域にも入ってきています。異なる遺伝子をもった種が、地域の種と交雑すると、地域ならではの遺伝子が失われてしまうという問題が生じます。キョロロでは地域の苗を使った植樹をしたり、講演会などで外来種の問題についていっしょに考える機会づくりをしたりしています。また、市民の皆さんといっしょに開花植物を調査する「花ごよみ調査」を冬季を除き月1回開催しています。皆さんもいっしょに楽しく学びませんか。

学術博士
伊藤千恵（32歳）

知ることで、地域を誇りに感じてほしい

昆虫を専門に研究しています。この地域の雪（豪雪）と里（ブナ）の環境は、日本中ほかにはない特異な生態系を生み出しています。例えば、昭和7年に東京農業大学の横山桐郎博士によって松之山から発見された「ヨコヤマヒゲナガカミキリ」は、ブナを好んで食し、ブナと密接な関係を持った昆虫です。また、平成17年には、以前キョロロにいた学芸員と松之山中学校の生徒が新種の甲虫を発見し「マツノヤマヒメコケムシ」と名付けました。次世代を担う市内の子どもたちには、このような自然豊かな雪里をもっと知ってもらい、誇りに感じてほしいと思っています。キョロロの研究員がいつでもお待ちしています。

農学博士
鶴　智之（33歳）

この写真のほか、全般にわたり佐藤一善さんから写真を提供していただいています。

雪里のこれから。それを守るのは私たちです

永きにわたり住み継がれ、そしてこれからも暮らしが続く雪里。その価値を再確認し、取捨選択し、さらに磨き上げる時代にきています。その活用については、一辺倒で考えるのではなく多角的に、例えば環境という面だけでなく、観光・教育・経済活動など多くの視点をつなぎ合わせて考える必要があります。そして、維持するためには、人を育てること、産業を作ることが重要です。このことを、この地域に住んでいる人たちが考え、実践するためにキョロロがあります。キョロロは、地域の皆さんと共に学び、雪里の地域づくりを進めます。（11月23日開催・第18回里山学会での講演より）

開催中！

雪（ゆき）・森（もり）・農（の）・里（さと）展

～くるくるめぐる　ゆきざとのめぐみ～

◎会期：平成25年6月30日(日)まで

人も自然もみんなつながってめぐっています。見て触れて楽しめるキョロロの展示で雪ふる里山「雪里」の仕組みの不思議を体験しよう。

※開館情報・入場料・問合せは、3ページをご覧ください

「森の学校友の会」でいっしょに活動しませんか

里山の自然や文化に親しみながら、キョロロの活動に参加・支援する「森の学校友の会」でいっしょに活動しませんか。入館料無料など会員特典もあります。詳しくは問い合わせてください。

ルール守って　みんなで気配り

雪処理に注意とご協力を

雪の季節は、除雪・凍結・雪崩など、事故やトラブルの危険がいっぱい。雪の降り初めは、車の衝突や転落事故が多発します。慎重な運転を心がけてください。また、真冬のアイスバーンや除雪直後の道路での転倒にも十分注意してください。

安全を確保しながら、ルールを守って冬を乗り切りましょう。

①危険な場所に近寄らない

冬場は、夏場に比べ危険な場所がいっぱいです。町内などで危険箇所を把握して、家の周囲での雪壁崩落や消雪池・流雪溝への転落事故に十分注意しましょう。

②雪おろしに注意

雪おろし作業は安全を第一に考え、足元には十分注意しましょう。屋根雪などの道路への投げ捨ては禁じられています。やむを得ず道路に出す場合は、道路脇に積み上げるなどして、速やかに片づけてください。

落雪式屋根の軒下には絶対に立ち入らないようにしましょう。また、ガスや灯油の外部配管を傷つけないように注意してください。

雪おろしをするときは、隣接する家屋の人に声を掛け、お互いの迷惑を考えながら協力して実施しましょう。

③除雪機械に近寄らない

除雪作業をするときは必ず誘導員を付け、作業中は必ず誘導員の指示に従ってください。

特に、小型除雪機の事故が毎年多発しています。雪が詰まったときには必ずエンジンを停止してから取り除くなど、事故防止に努めましょう。

④流雪溝の正しい使い方

❶作業中は流雪溝のふたが開いていることを知らせるため、赤いカラーコーンや赤い旗を掲示してください。作業終了後は速やかにふたを閉めてください。

❷転落防止のため、投雪口に付けてある十字枠は絶対に外さないでください。

❸道路の中央に設置してある投雪口を利用するときは、必ず誘導員を置いてください。

❹河川への投雪は水上がりの原因になるのでやめてください。

⑤貴重な地下資源

消雪パイプで利用する地下水は限りある資源です。節約を心がけ、いつまでも利用していけるよう大切に使いましょう。

⑥非常口の確保

火災などの緊急時に備え、建物の非常口を確保しましょう。防火水槽や消火栓もこまめに除雪しましょう。

⑦みんなで気配り運転

除雪道路は駐車禁止です。除雪作業の迷惑にならないようにしましょう。降雪・積雪状況により、交通規制が行われることがあります。ご理解とご協力をお願いします。運転者は、水はねなどで歩行者に迷惑をかけないよう、気配りある運転を心がけましょう。

⑧雪崩にあわないために

気温が低く降雪が続く時期や融雪期には、雪崩が起こりやすくなります。雪山の登山やスキー場などでは特に注意し、危険な場所には絶対に近づかないようにしましょう。

雪崩の兆候や危険な場所を見つけたら、すぐに避難して、建設課、各支所地域振興課・農林建設課または地域振興局地域整備部へ連絡してください。

●問合せ：建設課維持係
☎757―9932

そばにいて！たった2分の給油中

これから春先にかけて、ホームタンクから灯油を小分けするときに、うっかりミスにより灯油を流出させる事故が多発します。油の流出は地下水や河川の汚染原因になり、周辺住民に迷惑を及ぼすことがあります。灯油を小分けするときは、給油が終了するまで目を離さないようにお願いします。また、降雪前に外部配管した給油管も点検しましょう。

●問合せ：環境衛生課環境企画係
☎752―3924

水道管の凍結防止は万全ですか？

冷え込みが厳しくなると、屋外の水道管や蛇口が凍って破裂することがあります。凍結事故による修理費と水道料金は、使用者の負担になります。十分な防寒対策を行いましょう。また、水道を使用しないときに水道メーターが回っていないことを定期的に確認しましょう。

◇凍結防止対策

凍結しやすい所に保温材を巻いてください。発泡スチロールなど水を吸収しない素材が有効です。

◇破裂したとき

メーターボックス内の止水栓を閉じてから、指定工事店に修理を依頼してください。

検針の支障になりますので、メーターボックスの上に物を置かないでください。

◇休止届について

冬期間水道を使用しない場合は、休止届の提出をお勧めします。休止届及び開栓届は電話でも受け付けています。

●問合せ：上下水道局　☎757-3115

NTT・東北電力からのお願い

◇メーターの周りを除雪してください。屋根の雪おろし作業をするときは、電線・電話線の切断に注意してください。

◇ロータリー除雪機などで除雪作業をするときは、雪を電線・電話線・変圧器・メーターの方向へ飛ばさないでください。また、バックホーなどで除雪作業をするときは、電話線などに十分注意してください。

◇変圧器や電線に触れると感電する恐れがあります。電線が切れて路上などに落ちていても、絶対にさわらないでください。見つけたときは、至急東北電力まで連絡してください。

■問合せ

NTT東日本新潟 長岡サービスセンター
☎0258-21-3600
東北電力㈱コールセンター
☎0120-175-366

2013雪像ステージ「希望への出航（たびだち）」

今回の雪像ステージは、日本で初めて建造された洋式帆船「サン・ファン・バウティスタ号」をモチーフに制作されます。この帆船は、1613年に当時の日本人にとって未知の世界であった太平洋に慶長遣欧使節船として出航し、来年で400年の節目を迎えます。150年にわたって続いた戦国時代に終わりを告げ、新たな地平を目指した先人たちの思いを私たちの現在に重ね、時代を覆う閉寒感をはねのけ、災厄から立ち上がった未来へと突き進む勇気と覚悟、そして未来を志向する人々との絆を表現します。

特典ぎっしり！とってもお得で便利！ 十日町雪まつりパスポート

12月14日㈮販売開始 3,000円

お得な7特典

特典❶ ◎雪の芸術展雪像見学ツアー割引サービス

２月15日㈮・16日㈯の雪像見学ツアー料金から2,500円の割引サービスが受けられます。※開催３日前までに申込み

【申込み先】共立観光㈱　☎752-4128

特典❷ ◎雪の芸術作品めぐりスタンプラリー

数ある雪の芸術作品の中から３作品鑑賞し応募すると、抽選ですてきな賞品が当たります。

特典❸ ◎おまつりひろばパスポート優待サービス

「協賛おまつりひろば」で商品割引・無料提供などのサービスが受けられます。

特典❹ ◎雪上カーニバルパスポート優待ゾーン入場

雪上カーニバル（２月16日㈯開催）のパスポートゾーンに入場できます。

特典❺ ◎市街地巡回バス・ひろば巡りバス巡回バス乗り放題

雪の芸術作品めぐりやおまつりひろばめぐりに便利な巡回バス（16日㈯・17日㈰運行）が乗り放題になります。

特典❻ ◎道の駅・クロステン十日町　お買物割引

クロステンで2,000円以上買物をする際に200円の割引サービスが受けられます。

特典❼ ◎商店街・映画館・レンタカー・日帰り温泉・博物館クーポンサービス

パスポートに付いているクーポン券に記載されている店で割引などのサービスが受けられます。（内容は変更される場合あり）

パスポートのお求めは　（12月14日㈮販売開始）

雪まつり事務局（本町分庁舎）、各支所地域振興課、市役所本庁舎売店、全国のセブン-イレブン、ローソン、JR東日本管内の「びゅうプラザ」「みどりの窓口（一部除く）」などで購入できます。
※詳しくは十日町雪まつり公式ホームページをご覧ください

平成25年 ２月15日㈮ 午後６時～17日㈰ 午後４時

第64回

十日町雪まつり

２月15日㈮～17日㈰に開催される、第64回十日町雪まつり。「白い愛の祭典」をメーンテーマに、幻想的な雪上カーニバルをはじめ、おまつりひろばや雪像など、街全体がホワイトミュージアム（純白の美術館）として盛り上がります。冬の日本海側最大級のイベント「十日町雪まつり」。現代雪まつり発祥という歴史あるこのまつりに出かけませんか。

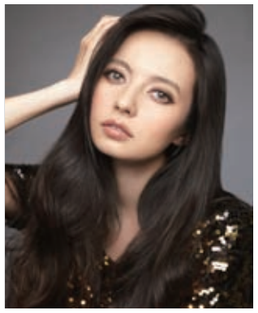
音と光のスペクタクル 雪上カーニバル

■日時：２月16日㈯　午後５時～６時30分
■会場：城ケ丘ピュアランド 特設会場
（十日町駅から徒歩約30分）

雪の巨大ステージは、十日町雪まつりの象徴として美しい舞台を演出します。ゲストに「稲垣潤一」「ベッキー♪♯」「LGMonkees」を迎え、ステージを華やかに盛り上げます。

稲垣潤一

1953年仙台市出身。1982年「雨のリグレット」でデビュー。「ドラマティック・レイン」や「クリスマスキャロルの頃には」など、数々のヒット曲で地位を確立しコンサート回数も現在では2,000回を超えている。昨年デビュー30周年を迎えた日本を代表するシンガー。



ベッキー♪♯

1984年、神奈川県生まれ。数多くのレギュラー番組やCM、映画やドラマなどマルチな活躍を続ける。2009年12月音楽活動をスタート。2011年は全国ツアーなどのライブを行い、2012年度もa-nation、イナズマロックフェスなどの夏フェスに登場。２年連続となるクリスマスLIVEを行うなど精力的にライブ活動を展開中。

LGMonkees

2010年メジャーデビュー。２ndミニアルバム「前回のLGMonkeesこと山猿です」を３月16日にリリースする直前に、東日本大震災で被災し、避難生活を送る。音楽を通じて「愛」「絆」「勇気」を伝えたいという思いでリリースした「3090～愛のうた～」が泣ける歌として累計配信数100万件を突破。東北から全国へ発信している「今」最も注目のアーティスト。

司　会　テツ and トモ

1998年コンビ結成。2003年「なんでだろう～」が「新語・流行語大賞」年間大賞受賞。現在、ＮＨＫ「コロッケぱらだいすごきげん歌謡笑劇団」、ＮＨＫ松山「伊予路てくてく」、ＮＨＫ山形「今夜はなまらナイト」にレギュラー出演中。全国各地イベントなど、子どもからお年寄りまで幅広い世代から支持を得ている。

テレビ新潟アナウンサー
諸橋　碧

※都合により、予告なしに出演者が変更になる場合があります

十日町きもの女王コンテスト2013

コンテスト出場者募集

前回から「十日町きもの女王」コンテストとして未婚・既婚を問わず応募できるようになりました。さらに、今回からは年齢の上限もなくなり、より幅広い人から応募してもらえるようになりました。豪華賞品も盛りだくさん。皆さんからの多数の応募をお待ちしています。

◆選出人数
十日町きもの女王　3人

◆応募資格
①未婚・既婚を問わず、1年間の活動が可能な満18歳以上の女性（高校生は除く）
②県内在住者。ただし、県外在住でも県内に帰省地がある人は応募できます
③市の観光親善大使として、平日を含め市の観光行事などに出務可能な人
④ほかのコンテストなどに入賞し、任期中でない人

◆応募方法
次の①・②いずれかの方法で申し込んでください。
①必要事項を記入した応募用紙を持参もしくは郵送
②十日町きもの女王ホームページの応募フォームからの申込み（http://kimono-queen.com/）
※いずれの場合も3か月以内に撮影された、正面向きの顔のみと正面向きの全身のカラー写真各1枚（L版・1人で写っている写真）が必要
※提出された応募書類及び写真は返却しません
※書類審査を通過した人については顔写真がガイドブックなどに掲載されます

◆応募締切
1月18日㈮午後7時必着

◆審査会
①予選会（書類審査）1月20日㈰
②本選会出場者説明会2月3日㈰
③本選会（公開審査）2月17日㈰

◆申込み・問合せ
十日町雪まつり実行委員会事務局十日町きもの女王コンテスト係　☎757―3100

雪まつりに参加して、楽しみませんか？ 各種募集のお知らせ

【雪まつり協賛金募集】
十日町雪まつりを盛大に開催するため、協賛していただける人を募集します。団体や個人、金額を問いませんので、多くの皆さんからの協賛をお願いします。
●**雪まつり協賛**：雪まつり全体に関する協賛です。
●**花火協賛**：雪上カーニバルのフィナーレを彩る花火への協賛です。皆さんの力で、華やかで大きな花火を打ち上げましょう。
●**広告協賛**：多くの来場者が手にするガイドブックに広告を掲載します。企業や団体のＰＲに活用できます。※１月11日㈮までに１万円以上協賛していただいた団体・個人は名前をガイドブックに掲載します

【協賛行事募集】
十日町雪まつりを盛り上げるため、雪まつり期間中に開催される地域のイベント行事を協賛行事として募集します。協賛行事は雪まつりガイドブックに日時と行事名を掲載します。
※経費を補助するものではありません
●**応募締切**：１月８日㈫
●**応募用紙**：雪まつりホームページ及び雪まつり事務局にあります。

【ひろば開設・雪像制作団体募集】
おまつりひろばを開設する団体と雪の芸術作品・雪の街角作品の制作団体を募集しています。
①**おまつりひろば**：ひろばで来訪客を迎え、おもてなしします。
②**雪の芸術展**：「芸術部門」「特別部門」「学童部門」の３部門※芸術部門は十日町地域の作品のみが審査対象となります
③**雪の街角作品**：少人数の団体での雪像制作に適したコンテストです。（会場：ほくほく線十日町駅西口公園）
●**応募締切**：１月８日㈫
●**応募用紙**：雪まつりホームページ及び雪まつり事務局にあります。

【ボランティアスタッフ募集】
十日町雪まつりの運営をサポートするボランティアスタッフ（高校生以上）を募集します。
●**会場**：十日町高校グラウンド
①**オープニングフェスティバル2013**：タレントによるライブなど盛りだくさんのオープニングフェスティバルの運営をサポートします。
●**活動日**：２月15日㈮
②**コミュニティひろば**：ひろば内で行われるアトラクションの手伝いをする予定です。
●**活動日**：２月15日㈮夕方～17日㈰夕方
●**申込み締切り**：１月25日㈮
■**申込み・問合せ**
十日町雪まつり実行委員会事務局（本町分庁舎内）☎757-3100　URL http://snowfes.jp/
e-mail：snowfes@city.tokamachi.lg.jp

ネージュのさんぽみち（facebookページ）
URL http://www.facebook.com/neige.sanpo

まちづくり（総合計画）に関するアンケート調査結果を報告します

■問合せ：企画政策課企画政策係　☎757―3193

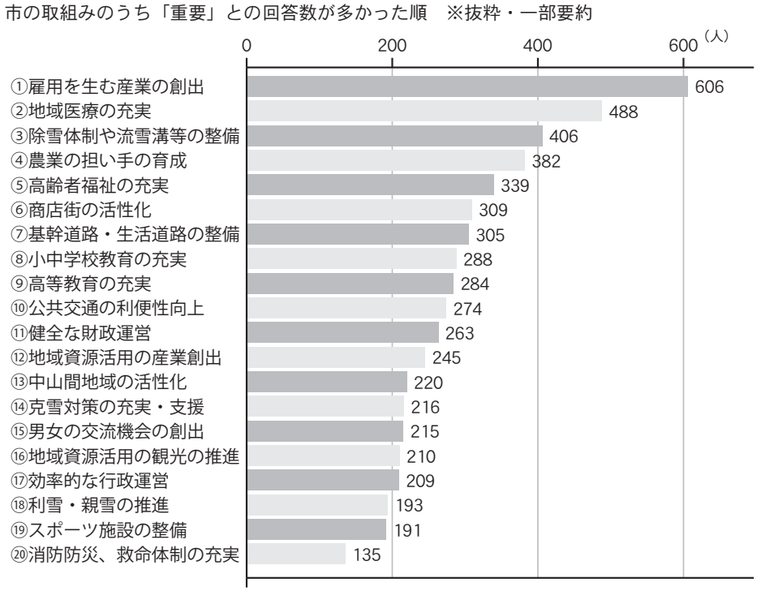
市民の皆さんが特に重要と考えている取組みと、その取組みに対する満足度を抜粋してお知らせします。このほか、地域別・年齢別などの集計もありますが、市のホームページや企画政策課、各支所地域振興課、各公民館で閲覧できます。今後もアンケート調査を毎年行い、市民の意向を反映させながらまちづくりを進めていきます。

【アンケートの概要】
■調査対象者：市内在住の満20歳以上の市民（無作為抽出の3千人）
■実施期間：6月6日～20日
■調査方法：郵送・無記名回収（調査票配布数：3千通、回答数：1、206通／回収率：40・2％）
■調査内容：市の取組みの重要度、各取組みに対する満足度など（福祉や教育の分野などの計65の取組みについて評価）

主な結果と傾向①　◆重要度

最も重要度が高い結果となったのが606人が答えた「雇用を生む産業の創出」でした。

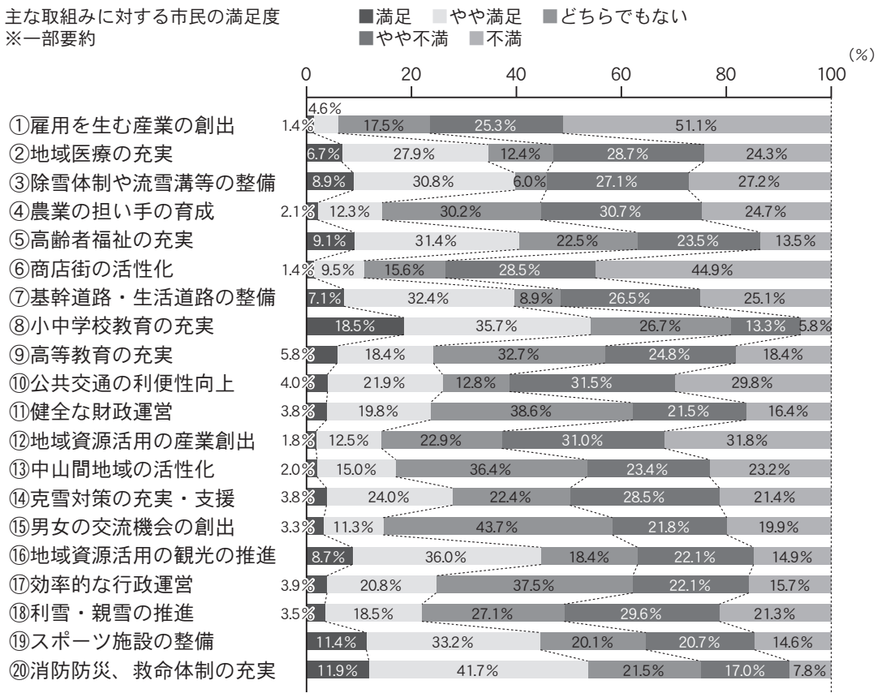
市の取組みのうち「重要」との回答数が多かった順　※抜粋・一部要約



主な結果と傾向②　◆満足度

上記の調査で最も重要と答えた「雇用を生む産業の創出」では、「満足1・4％」と低く、重要だが満足度は低いという市民意識が明らかになりました。

主な取組みに対する市民の満足度
※一部要約



地域に根差した活動をこれからも

― 地域おこし協力隊員と市長との懇談会を開催 ―

16人の隊員を３グループに分け、隊員と市長との懇談会を11月から３回にわたり開催しました。隊員からの活動の現状報告の後、市長と率直な意見交換が行われました。昨年10月以降新たに活動を開始した５人の隊員の紹介とともに懇談会の主な内容を紹介します。

米澤　健一さん（33歳）
任用日：平成23年10月１日
活動地区：松之山 布川地区
出身地：埼玉県

主な活動は、協力隊事務所の布川カフェを活用して、毎週金曜日にイベントをしたり、交流の場所として提供したりして、気楽に集まれる場所として利用してもらっています。他にも月１回かわら版を作り、各地区の活動紹介などを回覧しています。広い事務所に住んでいるため屋根の雪堀りが大変です。

羽鳥　大介さん（33歳）
任用日：平成23年10月１日
活動地区：松之山 浦田地区
出身地：東京都

担当している浦田地区は12集落あり、顔を覚えてもらうためにも、地域の要望を聞きに回っています。地域のお茶の間、イベントの手伝い、そして土曜日には、高齢者の買い物送迎サービスの手伝いをしています。地区の青年団とフットサルチームチームを作り、若者と交流もしています。

森山　克弘さん（49歳）
任用日：平成23年10月１日
活動地区：松之山 三省地区
出身地：新潟市

帰省のたびに、車から見た十日町市の自然が気に入り応募しました。活動は地区の高齢者宅の訪問や買い物の付き添いなどの支援を行っています。大地の芸術祭の際には地区内の三省ハウスを中心に盛り上がり、期間中は三省ハウスの前に直売所を作って地元の人から野菜を提供してもらい販売しました。

関口市長から

地域おこし協力隊は市民からも喜ばれていますし、ほかの自治体からも視察の依頼があります。これらは皆さんの活躍の成果であり、そのがんばりに感謝しています。

現在16人もの隊員が活動している中、隊員同士の横のつながりがあることをうれしく思っています。このつながりを強みとして活動に生かしてほしいです。

私たち行政では気づきにくい小さな課題や可能性を掘りおこして、地域住民の皆さんがより充実した豊かな生活を送ることができるようこれからもご尽力ください。

金岡　孝さん（28歳）
任用日：平成24年４月１日
活動地区：十日町 水沢地区
出身地：埼玉県

地域の人とお話をして、地域のニーズを引き出すことと、地域の資源を探し回ることで、自分にできることを考えてきました。その結果、地域の農作物を販売することが、地域の活力になると思い、首都圏へ出張販売を行っています。将来はこれを自分のビジネスとしてやっていきたいと思っています。

高木　千歩さん（39歳）
任用日：平成23年10月１日
活動地区：十日町 飛渡地区
出身地：東京都

枯木又集落では、エコミュージアムの会で会報誌の作成を手伝い、三ケ村では米と漬物などの販売促進を支援しています。地区全体では食と農を考える飛渡の会の設立に関わり、直売所の復活と販売促進を今年支援しました。また、楽器ができる隊員でバンドを組み、市内のイベントなどで演奏しています。

■地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化などの進行が著しい地域において、都市部の人材を積極的に招き入れ、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取組みです。活動期間は３年間で、市の委嘱を受けて地域協力活動を行います。

十日町市では平成21年９月から協力隊員を受け入れ始め、現在、市内各地域に16人の隊員を配置しています。今後も隊員を必要とする地域へ隊員を配置していきます。

■協力隊の活動内容

隊員は配置地区の公民館・支所などを拠点に、地域の実情に合わせて農作業や集落共同作業の支援や地域行事などへの協力、都市との交流支援、地域住民の生活支援などに従事しています。

◎12月１日現在の地域おこし協力隊配置状況

地　域	配置地区	隊員数	拠　点
十日町	飛渡地区	２人	飛渡公民館
	吉田地区	１人	吉田公民館
	東下組地区	１人	下条公民館
	水沢地区	２人	水沢公民館
川　西	仙田地区	１人	川西支所地域振興課
中　里	倉俣地区・清津峡地区	３人	中里支所地域振興課
松　代	中部地区・峰方地区・山平地区	３人	松代支所地域振興課
松之山	三省地区・布川地区・浦田地区	３人	松之山支所地域振興課
合　　計		16人	

年末年始の市の業務のお知らせ

年末年始の市やごみ収集などの業務状況、市の各施設の休館情報などをお知らせします。

◎市役所本庁・各支所
12月29日㈯～１月３日㈭は業務を休みます。
ただし、本庁の市民生活課・税務課・子育て支援課・福祉課・健康支援課・会計課の窓口は、29日㈯午前８時30分～午後０時30分は業務を行います（旅券業務、公的個人認証業務、住民基本台帳カードの申請・交付、住民票の広域交付、特例転入など住基ネットを利用した業務は除く）。

◎証明書自動交付機
12月31日㈪～１月３日㈭利用停止

◎中央公民館・各公民館
12月29日㈯～１月３日㈭休館

◎千手中央コミュニティセンター
12月29日㈯～１月３日㈭休館

◎博物館
12月27日㈭～１月４日㈮休館

◎市総合体育館
12月28日㈮は午後５時閉館、12月29日㈯～１月３日㈭休館、トレーニング室は12月28日㈮～１月３日㈭休館

◎川西総合体育館
12月28日㈮は午後５時閉館、12月29日㈯～１月３日㈭休館

◎松代総合体育館
12月29日㈯～１月３日㈭休館

◎情報館
12月29日㈯～１月３日㈭休館

◎ごみ収集
◇十日町・川西・松代地域
12月31日㈪まで収集カレンダーどおり収集します。
１月１日（元旦）～３日㈭はごみ収集業務を休みます。
◇中里・松之山地域
12月31日㈪～１月３日㈭ はごみ収集業務を休みます。

◎焼却場へのごみの持ち込み
年末は大変混雑しますので、ごみを持ち込む場合は時間に余裕を持ち早めの搬入をお願いします。
◇十日町・川西・松代地域：エコクリーンセンター
12月29日㈯　午前８時45分～午後５時
◇中里・松之山地域：津南地域衛生施設組合ごみ焼却場
12月29日㈯　午前８時45分～午後４時45分
12月30日㈰　午前８時45分～午後３時
※両日とも正午～午後１時は休み

◎し尿くみ取り
12月29日㈯～１月３日㈭は業務を休みます。

年末年始の営業状況のお知らせ

■クロステン
12月31日㈪は休館
〇おみやげ館
１月１日（元旦）は午前10時～午後５時30分、２日㈬・３日㈭は午前９時～午後５時30分まで営業
〇和装工芸館
１月１日（元旦）は休業、２日㈬・３日㈭は午前９時30分～午後５時30分まで営業
〇ユキマツリ
１月１日（元旦）～３日㈭は午前11時～午後５時まで営業

■キナーレ明石の湯
12月は無休（水曜日も営業）、ただし31日㈪は午前10時～午後８時、１月１日（元旦）は午後１時～10時、２日㈬は営業

■越後里山現代美術館[キナーレ]・越後しなのがわバル・ミュージアムショップ
12月31日㈪・１月１日（元旦）は休業、２日㈬は営業

■松葉荘（日帰り入浴・食堂）
12月29日㈯は午後５時まで営業、12月30日㈰～１月１日（元旦）は休館

■千手温泉千年の湯
年末年始無休、ただし12月31日㈪は午前10時～午後８時（最終入館午後７時30分）営業

■ひだまりプール
12月25日㈫～１月４日㈮休館

■ゆくら妻有
年末年始無休、ただし12月31日㈪は午前10時～午後９時・午後９時30分～翌日６時、１月１日（元旦）は午前11時から午後９時まで営業

■湯処よーへり
12月27日㈭～１月７日㈪午後７時まで営業
※１月８日㈫～３月31日㈰冬季休業

■まつだい農舞台・まつだい郷土資料館
12月29日㈯～１月３日㈭休館

■まつだいふるさと会館
年末年始無休、12月31日㈪は正午まで、１月１日（元旦）～３日㈭は午後５時まで営業

■森の学校キョロロ
12月25日㈫～31日㈪休館、１月１日（元旦）・２日㈬は開館

■十日町子育て支援センター くるる・川西子育て支援センター えくぼ
12月28日㈮は午後３時まで開館、12月29日㈯～１月３日㈭休館

■中里子育て支援センター きらりん・松代子育て支援センター すくすく・松之山子育て支援センター にこにこ
12月29日㈯～１月３日㈭休館

※光の館、ミオンなかさと、芝峠温泉「雲海」、松之山温泉鷹の湯は通常営業を行います

中心市街地活性化推進室からのお知らせ

日町なが元気プロジェクト
つながって 街なかに にぎわいを！

■問合せ：中心市街地活性化推進室（☎757―3691）

「中心市街地の商店街キャラバン」が行なわれました

11月29日㈭、「中心市街地の商店街キャラバン」が行なわれ経済産業省の羽尾一郎大臣官房審議官などが商店街を視察しました。これは中心市街地活性化政策の再構築を図ることを目的に同省が全国約30都市を訪問して関係者の生の声を聞くものです。視察に続いて地元関係者との意見交換が行われ、出席者からは人材育成の重要性や街なかでの駐車場の確保の必要性など積極的な意見が出されていました。

中心市街地の商店街キャラバン

100円レンタルスペース「にぎわいスペース」がスタートします

これまで親しんでいただいた「にぎわいショップ」が、「店舗スペース」と「会議スペース」として利用できる施設「にぎわいスペース」に生まれ変わります。利用料金など詳しくは気軽に問い合わせてください。（にぎわい研究所☎761―7230）

「にぎわいスペース」

にぎわいショップの「駄菓子屋」が移転しました

本町３丁目の「にぎわいショップ」で検証事業として営業してきたチャレンジショップと駄菓子屋が、検証期間を終了し閉鎖しました。そのうち、子どもたちのにぎわいを生み出す拠点となっていた駄菓子屋は移転し、地元の商店が引き継いで今後も営業されます。ぜひ、気軽にお立ち寄りください。

◎駄菓子屋の移転先：風花（本町４・☎761―7611）

本町2丁目「ふらっとステーション」をご利用ください

中心市街地の交流拠点として運営されてきた「ふらっとステーション」が、運営体制をリニューアルして再スタートします。子育て・体操などの活動や、手芸の展示、買い物途中でのひと休みなど、市民の皆さんが幅広く利用できます。貸し切る場合は利用料がかかりますので、問い合わせてください。（にぎわい研究所☎761―7230）

服飾専門学校の学校祭での活用（展示）

GUIDE ～ お知らせ・ガイド ～

催し・講座

小中一貫教育モデル中学校区合同発表会

昨年度から試行している4つの小中一貫教育モデル中学校区の取組みの発表会です。

日12月26日㈬午前9時～11時45分

会千手中央コミュニティセンター

内①下条・川西・中里・松代の各中学校区のステージ発表、②中学校区ごとのブースに分かれての質疑応答

申・問12月20日㈭までに学校教育課（☎757―3336）

募集

代官山朝市出店者募集

旬の野菜や特産品を東京都渋谷区の代官山でPRしませんか。新しい顧客や販路開拓、ブランド化を目指します。

日毎月第1・3日曜日

会「DAIKANYAMA T―SITE（蔦屋書店）」（東京都渋谷区代官山）

●参加条件

・市内に所在する事業者や生産者であること

・市内で主たる生産活動をしていること

・新しいマーケットを開拓する意欲があること

・法令などを遵守した生産活動を行っていること

●対象の特産品例＝山菜・野菜・米などの農産物や菓子類、酒類、加工品など、地域の特徴を生かした特産品

●出店費用＝産地直送ネットワーク支援事業補助金が利用できます

他出店者説明会を12月18日㈫午後4時～6時にクロステンで開催します

申・問産業政策課（☎757―3139）、NPO法人越後妻有里山協働機構・青山（☎761―7767）

第2次十日町市男女共同参画基本計画案のパブリックコメントを募集

市では、平成25年度を計画初年度とする「第2次十日町市男女共同参画基本計画」の素案をまとめました。この計画について、広く市民の皆さんから意見を募集します。

●意見の募集期間＝平成25年1月7日㈪まで（必着）

●資料の閲覧場所＝企画政策課・本町分庁舎・各支所地域振興課・各公民館・情報館・市ホームページ

●意見の提出方法＝①郵送（〒948―8501十日町市千歳町3―3企画政策課）②F752―4635③電子メール（t-kikaku@city.tokamachi.lg.jp）

問企画政策課協働推進係（☎757―3693）

トオコン season 3「本選会」開催

県内外の大学生が「十日町を全国ブレイクさせるビジネス」または「過疎を逆手にとるビジネス」をテーマにビジネスプランを競い合う、十日町市ビジネスコンテスト「トオコンseason 3」の本選会を開催します。本選会は新潟と東京の各予選会を通過した6チームによる決勝戦です。大学生から見た十日町市の可能性や姿を直接感じてみませんか。無料公開ですので、多くの皆さんからの来場をお待ちしています。

日12月15日㈯午後1時～5時30分（予定）

会クロステン

●進出プラン名（所属大学）

①「CROWN・TOWN－十日町－」（中央大学・東洋大学）

②「十日町四季のガイドブック」（長岡大学）

③「大地の音楽祭」（東京家政大学・国士舘大学・日本大学）

④「クイズラリーで商店街をにぎやかに」（新潟産業大学）

⑤「あなたも農業できますよプロジェクト」（新潟大学）

⑥「Collect十日町　カタログ革命～十日町の魅力、大集合～」（東京農工大学）

問産業政策課産業企画係（☎757-3139）詳しくは公式ホームページ（http://www.toocon.jp/）

本町4丁目 雪行灯（あんどん）俳句募集

2月15日～17日の十日町雪まつりで設置の雪あんどんに掲出する俳句を募集します。

●季題＝「雪まつり」「待春」

●選者＝小川公巴さん

●入選数・賞品＝10句（特選3句：商品券2、000円、小川公巴さんの色紙、入選7句：商品券1、000円）

他入選作は地元各紙に掲載します

申はがきに各題1句、表面に住所・氏名・電話番号を明記し、1月10日㈭までに〒948―0082十日町市本町4 水野正則

問本町4丁目雪まつり委員会・高橋（☎752―2541）

2013年度大学育英資金奨学生募集

対次のすべてに該当する人

①新潟県民の子で、学校教育法に基づく4年制大学に進学または在学の人、②母子（父子）家庭の人、③家計の都合で学資の支弁が困難と認められる人

定20人

●奨学金額＝月額2万円（最高96万円）

●利息＝無利息

●貸与方法＝毎月1回

●貸与期間＝平成25年4月または奨学生に採用された月から正規な卒業まで

●返還方法・金額＝卒業または貸与終了月の翌月から8年以内で年間12万円以上

他応募書類の請求は、財団またはホームページ（http://www.zaidan-hukushi.or.jp/）

〆1月25日㈮必着

問㈶新潟県勤労者福祉厚生財団「奨学金」係・村田（☎025―288―5273）

思い出の着物をリメイクしませんか？モデルになりませんか？

着物リフォームファッションショー「きものパーティー」の参加者を募集しています。思い出の着物を自分で洋服にリメイクし、パーティーでモデルとして参加しませんか。

モデルとしてのみの参加も大歓迎です。

日1月12日㈯午後6時30分～

会クロステン

〆12月20日㈭

申・問樋口（☎090―7200―3700）

福祉・健康

応急手当講習会

日1月9日㈬午後7時～

内心肺蘇生法とAEDの取り扱い（救命入門コース1）

会・申・問十日町地域消防本部（☎757―1558）またはホームページ（http://www.tokamachi-kouiki.jp/）

くらし・相談

12月は滞納整理強化月間

市では、納期内に納税している多くの人との公平性や税収確保のため、納税通知書や督促状を送付しても早期完納に向けた計画の提示や納付がなく、何の相談もない滞納者には厳しい姿勢で滞納処分を実施しています。特に12月は滞納一掃のため、預貯金・給与・不動産の差し押えなどを実施しますので、早期の納付をお願いします。なお、**納付することがどうしても困難な場合は、至急、税務課管理収納係に相談してください。**また、夜間納税相談（要予約）も実施していますのでご利用ください。

問税務課管理収納係（☎757―3113）

鉄道の団体利用の運賃を一部助成します

鉄道利用の機会創出とともに、輸送手段の活性化と地域コミュニティの醸成を図ることを目的に、市民団体が鉄道利用をする場合、その運賃の一部を助成します。希望する団体は申請してください。

対20人以上で市内駅から利用する市民団体

●補助率・額＝利用者（市民団体）が支払う運賃・料金で、補助率は50％、上限は1件当たり5万円

●事例

①町内会の親睦活動として、鉄道で行楽に出かける場合

②学校のPTA活動（保護者・児童など）で、鉄道を利用してレクリエーションなど行う場合

③同級会の定例行事として、遠方へ親睦旅行する場合

申・問企画政策課企画政策係（☎757―3193）

長野県北部地震、新潟・福島豪雨災害のごみ無料受付などを終了します

【長野県北部地震】

一部損壊以上の被害を受けた家屋の修繕などで発生する処分費の公費負担の申請受付は、12月28日㈮で終了します。また、エコクリーンセンターでの地震片づけごみの無料受付は、12月29日㈯で終了します。なお、中里・松之山地域の津南地域衛生施設組合での地震片づけごみの無料受付については、12月30日㈰で終了します。

【新潟・福島豪雨災害】

被災した家屋の解体などによる災害廃棄物処理事業の申請及び市単独の解体費助成事

業の申請、被災家電の無料処理の受付は、12月28日㈮で終了します。

問環境衛生課（☎752―3924）

家屋の取り壊しや異動（相続・売買など）の際は手続きを

家屋の取り壊しや異動があったときには、忘れずに手続きをしてください。

対①家屋の全部または一部を取り壊した人、②売買・贈与・相続などで異動があった未登記家屋（法務局に登記していない建物）など

問税務課家屋資産税係（☎757―3728）

償却資産の申告をお願いします

平成25年1月1日現在の償却資産の申告のため、償却資産を所有する個人及び事業主（農業者含む）の皆さんに、平成25年度償却資産申告書を発送します。期限内の申告をお願いします。

●**発送予定日**＝12月14日㈮
●**申告期限日**＝1月31日㈭
●**電子申告**＝地方税電子申告システム（eLTAX（エルタックス））が利用できます。これにより、申請書を郵送や持参することなく、自宅や会社からインターネットを使って申告することができます。詳しくはホームページ（http://www.eltax.jp/）をご覧ください

●**注意事項**
◎乗用型田植機・トラクター・コンバイン、工場など構内で使用しているフォークリフト・ミニローダーは償却資産ではなく、小型特殊自動車として軽自動車税の対象です。
◎標識（緑ナンバー）の交付を受けている車両は、償却資産として申告する必要はありません。なお、標識の交付を受けていない車両は、税務課または各支所市民課に交付申請書を提出してください。

問税務課家屋資産税係（☎757―3728）

医師、看護職員などの業務従事者届

医師・歯科医師・薬剤師・看護職員・歯科衛生士・歯科技工士は、2年ごとに就業状況などを届け出ることが法律上義務付けられています。今年は届出年に当たるため、届け出てください。

●**届出方法**＝12月31日現在の就業状況などを、1月15日㈫までに、住所地または勤務先を所管する地域振興局健康福祉（環境）部へ提出。

問新潟県福祉保健課（☎025―280―5175）

公的年金などを受給している人へ（確定申告）

平成23年分以後の各年分において、公的年金などの収入金額の合計額が400万円以下であり、かつ、公的年金などに係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合は、所得税の確定申告書の提出は不要です。詳しくは、問い合わせてください。

※所得税の確定申告が必要ない場合であっても、**住民税の申告が必要な場合があります**

※この場合であっても、所得税の還付を受けるためには、確定申告書を提出する必要があります

問十日町税務署（☎752―3181）

新潟Uターン情報誌を無料送付します

県では、県内企業の採用動向や就職ガイダンスなどのお知らせを掲載した情報誌「新潟Uターン情報」「新潟生活」を定期的に発行し、登録した保護者の自宅へ無料で送付しています。県外に進学などをした子どもを持つ皆さん、ぜひ登録してください。ホームページ「ニイゲット」から申し込みができます。

申・問新潟県県民生活課（☎025―280―5112）

JR東日本新潟支社 在来線列車運行情報が閲覧できます

新潟支社管内の在来線の運行状況をJR東日本新潟支社ホームページ（http://www.jrniigata.co.jp/）から確認できるようになりました。ぜひご利用ください。

●**提供する情報**
①在来線の路線図上で、列車の運行状況を4つの色で表示します。
②文字情報で線区別の運行状況を「遅延」「運休」「運休及び遅延」「運転見合わせ」別に表示します。
③時刻表画面で運休列車と運休区間を色付けで表示します。また、閲覧時点での翌日の運休情報についても表示します。

※新幹線の運休や遅れなどの運行情報については、JR東日本のホームページから見ることができます

問お問い合わせセンター（☎050―2016―1600）

高齢者と障がい者の困りごと無料法律相談

高齢者や障がい者本人、その家族からの本人に関する法律相談に応じます。

日12月15日㈯午前10時～午後4時

会新潟県弁護士会館（新潟市）

内財産管理、成年後見、遺言・相続、悪質商法、借金、保証、貸金など、法律相談の内容は問いません

●**相談方法**＝電話相談（予約不要）☎0570―045533、面接相談（予約必要）☎025―222―5533

問新潟県弁護士会（☎025―222―5533）

労働保険のお知らせ

【備えよう、社員の万一に】

労働者を1人でも雇っている事業主は労働保険に加入しなければなりません。また、労働保険の加入手続きを行っていない事業主は、加入手続きをとるようお願いします。

【石綿（アスベスト）による疾病の補償のお知らせ】

石綿を取り扱う仕事に従事していたことにより、中皮腫や肺がんなどを発症した場合には、労災保険給付や特別遺族給付金が支給されます。

問新潟労働局労働基準部労災補償課（☎025―288―3506）

【市報おわびと訂正】

市報11月25日号6ページ「人事行政事情のお知らせ」の職員数に関する状況で削除とありますが、正しくは**削減**でした。また、14ページ「12月のちびっこひろば」で、【読み聞かせの会「どんぐり」】の期日が15日㈯となっていましたが、正しくは、**16日㈰**でした。おわびして訂正します。

寄付ありがとう

11月25日届出分まで（敬称略）

●**とおかまち応援寄附金**＝山際龍太（東京都江戸川区）、吉川謙次（千葉県浦安市）、柳寛次（神奈川県横浜市）、伊藤忠ホームファッション㈱Keen Japan（東京都中央区）、髙橋秀夫（神奈川県座間市）、相澤傑（東京都西東京市）、小口敏夫（神奈川県川崎市）、鈴木俊（新潟市西区）、関口努（東京都町田市）、志賀末吉（神奈川県綾瀬市）、桧杖勲（愛知県瀬戸市）
●**情報館へ**＝髙橋瑞恵（伊達1）、阿部和誉（本町6-1）、齊藤祐作（千葉県印西市）、瀧澤榮輔（本町東1）、木村喜郎（仁田）、奥平百合（蒲生）、岡田幸夫（群馬県桐生市）、大島康広（水野町）、ホープ歯科クリニック（寿町2）

中学生の税についての作文

十日町納税貯蓄組合連合会、十日町税務署、十日町市租税教育推進協議会では、中学生を対象に税についての作文を募集しました。入選結果を紹介します。（敬称略）

●**全国納税貯蓄組合連合会長賞**
桒原　萌（中里中3年）
「未来を支える税金」

●**十日町納税貯蓄組合連合会長賞**
玉村祐希（南中3年）
「税について」

●**十日町税務署長賞**
髙橋美咲（中条中3年）
「身の周りの税と社会保障」
阿部真理（南中3年）
「日本の未来につながる消費税」

●**新潟県南魚沼地域振興局長賞**
藤橋亜衣子（南中3年）
「税についての考え方」

●**関東信越税理士会十日町支部長賞**
金澤　葵（中条中3年）
「少子高齢化と税について」

●**十日町納税貯蓄組合連合会優秀賞**
島田青葉（十日町中3年）
「税金の使い道について」
濱野郁美（吉田中3年）
「税について考えること」
小宮山紗理（下条中3年）
「税と十日町と雪」
柳浩太朗（水沢中3年）
「税金を納めることによって生活ができる」
春日亜美（川西中3年）
「税金の大切さ」
富澤紗矢（松代中3年）
「税について」

●**十日町市租税教育推進協議会長賞**
〈最優秀賞〉
山田崇真（下条中3年）
「消費税10パーセントは多いのか」
〈優秀賞〉
水落千弓（中条中3年）
「日本の税金について」
春日　茜（南中3年）
「増税は必要か、必要ないか」
〈入選〉
尾身　悠（十日町中3年）
「税の大切さ」
村武美玖（中条中3年）
「税への理解」
箱田静香（中条中3年）
「税の必要性」
阿部瑞生（南中3年）
「税の使われ方について」
岡村杏里（南中3年）
「税金について」
西野佳奈子（南中3年）
「私達の暮らしと税」
長谷川実優（下条中3年）
「税について」
井川由莉香（川西中3年）
「役に立っている税金」
松﨑珠子（中里中3年）
「生活を支える税」
樋口実央（中里中3年）
「税の大切さ」

問税務課管理収納係（☎757―3113）

ときめきネットワーク ⑨⓪

地域の皆さんの健康のために

佐藤　未来（みき）さん
1982年生
まつだい接骨院　開業

先月の猪俣光弘さんからのバトンタッチ

柔道整復師になろうとしたきっかけは、骨折で接骨院に何度かお世話になったこと。小学生のときから高校時代まで少林寺拳法をしていて数回骨折し、そのときお世話になった先生への憧れがありました。

国家資格取得後もその頃お世話になった接骨院に3年ほど勤めていましたが、6年前に東京から嫁いできました。旦那はまつのやま接骨院を開業しているので、昨年私も松代に接骨院兼自宅を建築、旦那は松之山で、私は松代で施術をしています。

子ども2人を育てながらの仕事で大変なこともありますが、地域の人が元気に笑顔でいるための手助けができるのでとてもやりがいがあります。目標は地域医療を充実させること。病院や行政などと連携して、地域住民の介護予防のために運動プログラムなどの構築ができればと思っています。

地産地消　新鮮　おいしい

農家の皆さんが丹精込めてつくっています。

十日町産を食べよう！

地元で作られたものを地元で食べる。
その営みを拡大するために、十日町で作られている農産物などを紹介していきます。

No.28 白菜

鍋物がおいしいこれからの時期に欠かせない野菜の代表格。くせがなく、肉にも魚にも合う重宝する野菜です。

写真は、水品直子さんの畑の白菜

白菜は味にくせがなく、工夫次第で食卓の主役や名脇役となる万能な野菜です。左の写真は川西地域で栽培されている郷秋（きょうしゅう）という品種です。この白菜は、内部の中心が鮮黄色でやわらかいため、漬け上がりが早いことが特徴です。旬は11月～２月頃で、寒暖の差により旨みが増します。栄養価は、ビタミンＣやミネラル、食物繊維が豊富です。これらの栄養価は、水に溶けやすい性質のため、鍋物など煮汁といっしょに食べられる料理がお勧めです。地元産の白菜は市内の直売所などで買うことができます。地元産の白菜を使った鍋物で、寒い冬を乗り切りましょう。

〈収穫時期〉 11月～２月
〈おいしい食べ方〉 鍋物、煮物、炒め物、漬け物など
●問合せ：農林課農業企画係　☎757-3120

歴探（れきたん）！

古文書が語るふるさとの歴史　九の巻

松前に渡った歌舞伎興行衣装方の記録②

船坂・徳永家文書「懐中録」

天保12（1841）年、啓助一行を乗せた明栄丸は、途中しけに遭いながらも、7日後の5月22日に蝦夷（えぞ）地（北海道）の松前に到着しました。当時松前藩は、漁業をはじめ各地との交易が盛んで大変活気があった所です。ところが松前に着くと芝居は江差（えさし）（松前から約65㎞）で興行することになり、一行は6月19日に馬を連ねて江差に向かいました。

これまでの苦労のかいもあり、28日の江差での顔見せ興行は大当り。「見物人は山のごとく、桟敷より花道舞台まで大変の見物に御座候（ござそうろう）」と啓助の期待は膨らみます。翌日の舞台初日では「敵討（かたきうち）厳流島」5幕を上演し、百文の入場券は860枚も売れました。その後も「伽羅先代萩（めいぼくせんだいはぎ）」「忠臣講釈」などを上演し、どれも盛況。不入りの日もありましたが、9月28日までの興行は80日に及びました。

翌年正月15日から興行を開こうとしたところ、天保改革により興行の差し止めが命じられました。このため啓助たちは収入が途絶え、出費ばかりがかさみ、窮地に立たされたのです。〈続く〉

■問合せ：博物館　☎757－5531

くずし字・古文書クイズ　ろ山村

（クイズの答えは27ページ）

早ね　早おき　朝ごはん

できることから、やってみよう

～はぐくみのまちづくり運動～

●問合せ：生涯学習課　☎757-8918

【今月のテーマ】

子どもを見守りましょう

集団登校の子どもの列に車が突っ込み、大切な命が奪われるという痛ましい事故が相次いで起きました。当市でも歩道のない道路が通学路として使われているところもあり、特にこれからの降雪期には同様の事故が起こりうる可能性があります。

また、不審者による子どもたちへの誘いがけなどの事例も、毎年幾度となく起きています。幸い、痛ましい被害は出ていませんが、いつどこで事件が起きるか分からない社会状況です。

そこで力を発揮するのが、地域の力です。たとえば、散歩や外出の時間を学校の登下校の時間帯に合わせるなど、安全パトロールの視点で子どもたちに目を向けてもらえるようお願いします。

また、子どもたちが助けを求めてきたら一時的に保護し、事件性があると判断される場合は、110番通報をお願いします。

十日町市の将来を担う子どもたちにとって、安全で安心できるまちとなるよう、地域で子どもたちを見守りましょう。また、地域や学校などが行っている子どもを見守る活動や、ＰＴＡなどの街頭指導、パトロール、あいさつ運動・声かけ活動などにもご協力をお願いします。

わが家のアイドル（４歳未満の幼児）募集中！
申込み・問合せは企画政策課秘書広報係　☎757-3112まで

あいどるきゃっち 90

矢口　陽莉ちゃん
やぐち　ひよりちゃん
平成23年12月1日生まれ
朝日町

音楽が大好きでお気に入りの曲が流れるとノリノリで踊りだす陽莉ちゃん。音の出るものが好きで楽器のおもちゃがお気に入りです。今は雪に触るのを楽しみにしています。

根津　善一郎ちゃん
ねつ　ぜんいちろうちゃん
平成23年8月9日生まれ
駅通り

アンパンマンが大好きで歌が流れだすと自然に体が動きます。外へ出るのも好きで、雪が降ったら雪遊びをしたいと元気いっぱい。クリスマスはママの手作りケーキが楽しみです。

元気なお年寄りを紹介し、
健康の秘けつなどをうかがいます。

和顔愛語
～はつらつ　おばあちゃん～ 4

田邉　ハルさん（松之山・92歳）

「私は笑うのが専門」とともかく明るいハルさん。大きな病気もせず、自分のことは自分でするようにしているといいます。元気の秘けつは「指先・体・頭を使う」ことで、小物づくりが趣味。作品は毎年文化祭などに出品しています。また３年前に骨折して以来通っているリハビリも今は楽しみの一つ。体を動かすだけでなく、頭の運動や仲間との会話を楽しんでいます。

元気予報

問合せ　健康支援課母子保健係　TEL757-9759

実践しよう！冬の感染症対策

例年、冬に流行するのが、ノロウイルスなどの感染性胃腸炎やインフルエンザですが、今年は乳幼児や高齢者がかかると重症化しやすいＲＳウイルス感染症も多く発生しています。予防のポイントを紹介します。

【手洗い】
○帰宅時やトイレの後、食事前は特に念入りに。石鹸と流水で15秒以上が理想です。
○消毒用アルコールはノロウイルスには効果がありません。

【うがい】
○水やうがい薬で、ガラガラうがいを1日数回行います。15秒間が目安です。

【栄養と休養】
○水分は、水やお茶などを1日コップ7～8杯が目安です。
○主食・主菜・副菜がそろった食事を心がけます。
○睡眠は6～8時間が目安です。

【咳エチケット】
○せきやくしゃみをするときは人から顔をそらせ、ティッシュなどで口と鼻を覆います。
○せきなどの出る間はマスクを着用します。
※マスクは使い捨てのものを使い、鼻から顎までしっかり覆います

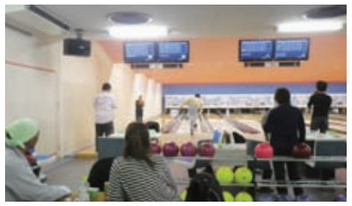
以上は感染症予防の共通事項ですが、感染性胃腸炎については、次の点にも注意しましょう。

【感染性胃腸炎の予防】
○カキなどの二枚貝は、十分に加熱してください。

【家族がかかったときの汚物処理～感染を広げないために～】
○吐物などの処理をするときは、使い捨てマスク・ゴム手袋・エプロンを着用します。
○汚物は使い捨ての布などで拭き取り、消毒液（ペットボトルにキャップ2杯の漂白剤を入れ、500mℓの水を加える）を浸した布で10分間覆い、その後水拭きします。
○拭き取った布・使用済ゴム手袋などは、ビニール袋に密封して捨て、処理後は手洗いをしっかりします。

連載コーナー

どるり中里 宝さがし 小出編



小出集落は、日本三大渓谷である清津峡を有する集落です。中里地域の中心部から国道３５３号を南魚沼市方面に車を走らせ、約20分のところにあります。

この小出の皆さんの宝物は、何ものにも代えがたい「集落民の輪」です。「輪」を大切にすることで、お互いが思いやり、助け合う「和」を育んでいます。

小出では、青年団は活発に活動する一方で、女性やお年寄りが集まる機会がなかなかありませんでした。そんなことから、子どもからお年寄りまでいっしょに楽しめることはないかと考えました。そこで、ボウリング大会を計画し、昨年12月から春まで毎月開催しました。これまで5回開催し、いつも20人以上が参加するほど好評を得ています。

大会では、上手下手は関係なく、ストライクを出すと参加者全員で大喜びし、失敗すると励まし合います。また、ゲーム終了後には表彰式と懇親会があり、懇親会では、各家庭の手料理やイノシシ鍋などを持ち寄り親睦を深めています。

集落の皆さんの希望が多いことから、農作業や冬支度が一段落した12月中には6回目を計画中。今後も、親睦を深めるために継続的に開催する予定です。

暮らしの護身術
～医療費などの還付金詐欺～ 9

大学生の花子が帰宅すると、祖母うめがうれしそうでした。

《花子》おばあちゃん、何か良いことあった？

《うめ》今日、社会保険事務所から電話があって、医療費の還付があるって言わんだて。今日が期限で１時間以内に手続きが必要だって言われてそ。キャッシュカードと携帯電話を持って近くのＡＴＭへ行けって言うから、慌ててスーパーのＡＴＭへ行って、社会保険事務所のフリーダイヤルへ電話して、言うとおりに操作したんだて。明日には３万６千円が口座に振り込まれるっけん、寿司でも食べに行くべ。おれのおごりだこっつぉ。

《花子》おばちゃん、大変！！それって、今はやっている還付金詐欺よ。口座に入金すると見せかけて、逆に相手の口座に振り込ませるのよ。

《うめ》ええっ！？

アドバイス　県内で市町村や社会保険事務所を名乗り、医療費などの還付をかたる不審電話が相次いでいます。市役所などの職員がＡＴＭ操作を行うよう連絡することは絶対にありません。不審に思ったら警察や下記窓口にご相談ください。

【注意情報】先月に引き続き、「健康食品の送りつけ商法」の被害が報告されています。「注文した健康食品を送る」と電話があっても、注文していない場合は「注文していません」とはっきり言って電話を切りましょう。商品が送られてきた場合は、送り主の住所・会社名・電話番号をメモし、商品を受け取り拒否したうえで、下記窓口にご相談ください。

●問合せ：十日町市消費生活相談窓口
（産業政策課商工振興係内☎757-3740）
平日／午前９時～午後４時

あすこだね

▼雪も降り、冬らしくなってきました。今年の雪の傾向は二転三転していてどうなるか分かりませんが、しっかりと冬支度をしていこうと思います。

▼トピックスにも載せましたが、一般国道２５３号改築（松代道路）事業が11月21日で完了しました。以前の道路は道幅が狭く、急カーブ・急こう配で、冬季はスリップ事故・雪崩などで度々渋滞が起きていた区間でした。松代道路が開通したことにより、冬季でもスムーズに通行できることでしょう。

▼道路が広くなったからといって、スピードの出しすぎには注意しましょう。十日町警察署管内では、昨年と比べ交通事故発生件数、負傷者・死者数ともに減少傾向ですが、これから降雪などによる路面状況が悪化する時期となりますので、安全運転でお願いします。

（古）

▼十日町市の歳時記と銘打ったカレンダーを、本号から2か月に一度発行することにしました。このカレンダーは、市民の皆さんからイベントなどにお出かけしてほしいとの思いで企画したもので、壁に貼っても見栄えのある、写真を中心としたレイアウトにしました。お出かけの際の参考にしていただければ幸いです。

▼今回の特集はキョロロです。キョロロをあまり知らない市民の持つイメージは「大地の芸術祭の作品」「展示施設」とうかがったことがあります。博士号をもつ研究員が在籍し、地域の自然資源を題材に研究している施設でもあることを意外に知らない人も多いそうです。今回の特集を機にこちらにもぜひお出かけください。

（ふ）

連載コーナー

■＝市民リポーター
市民リポーターによる市民目線でのリポートです。市民リポーターはいつでも募集していますので、興味のある人は問い合わせてください。

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、企画政策課秘書広報係（☎757-3112）へ気軽にお寄せください。

松之山　新たに３人が「名老」の仲間入り

11月15日㈭：松之山温泉「山の森のホテル　ふくずみ」

70歳以上の各界の達人を「名老」と認定する松之山地域「名老百選」。新たに、高橋トリさん（地域貢献）、久保田久男さん（伝統工芸）、本山勉さん（書道）が認定され、市長から「名老の証」が授与されました。おめでとうございます。

十日町　オラが集落の一年間の感謝祭！

11月18日㈰：川治公民館 関浅分館

今年もあと少し。集落の営みも無事に過ぎようとしています。30年も続く恒例の感謝祭での、野菜販売の熱い戦いの一コマ。野菜に複数人の希望があった場合、ジャンケンで獲得者を決めます。関根・浅の平の秋ごったくでした。

（■南雲信一さん）

中里　工房なかさと地域交流秋まつり

11月22日㈭：サポートセンター工房なかさと

NPO法人工房なかさとによる秋まつりが開催され、利用者の皆さんや地域の皆さんでにぎわいました。利用者の皆さんが育てたもち米８升を使ったもちつきやビンゴゲームなどで交流。つきたてのおもちがふるまわれました。

松之山　～ありがとう　浦田小学校～閉校記念式典・思い出を語る会

11月10日㈯：浦田小学校

感謝を込めて校歌斉唱

全児童８人が元気な太鼓演奏で“ありがとう”を届けました

来年３月いっぱいで137年の歴史を閉じる浦田小学校。地域とともに歩んできた同校の閉校記念式典では、学校の灯が消えることへの寂しさとともに、母校への感謝の思いで包まれました。

松代　事業開始から24年　「松代道路」全線開通

11月21日㈬：池尻大橋・長者原橋

池尻大橋と長者原橋が完成し、池尻交差点～県立松代高校前交差点間3.1kmの国道253号「松代道路」が全線開通しました。この日、交通安全祈願祭と開通式典が行われ、長年待ち望んだ道路開通を祝いました。

川西　おそば、おいしかったよ！

11月18日㈰：木落構造改善センター

今回で17回目を迎えた「木落そばまつり（もくらくぞっき）」。“おら村で採ったそばをおら村で打ってトコトン食い尽くす”といったキャッチフレーズのとおり、小さなお子さんからお年寄りまでたくさんの人たちが新そばを堪能しました。

【23ページ「歴探！」くずし字村名クイズ答え】…高山村

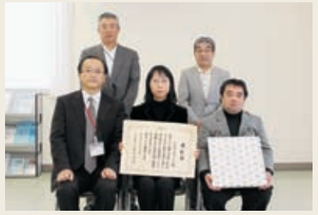
表彰おめでとうございます

財務大臣表彰

村山　榮治さん（関根２・66歳）

十日町法人会会長などの要職を務め、長年にわたり納税同義の高揚に顕著な功績をあげてきたことが認められました。

厚生労働大臣表彰



十日町手話サークル

昭和48年に発足以来、学習会などを実施し、市民への手話の普及などの功績が認められました。（写真中央が会長の富井由香さん）

厚生労働大臣表彰（現代の名工：漆工・はく押工）

村山　義郎さん（四日町新田２・74歳）

平成天皇大嘗祭（だいじょうさい）儀式用弓の塗りを担当するなど、手作業にこだわった漆塗り・はく押しの高い技能が評価されました。

法務大臣表彰

松井　定延さん（美雪町３・77歳）

平成10年から人権擁護委員を務め、人権相談や、地域や学校・保育園に出向いての人権啓発などの活動と功績が認められました。

■発行/十日町市役所 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.025-757-3112 FAX.025-752-4635
E-mail koho@city.tokamachi.lg.jp URL http://www.city.tokamachi.lg.jp/ ■編集/企画政策課秘書広報係

ジュニア芸術祭

90

鐙島小学校

見れてよかった

佐野　岬（みさき）さん（1年）

ぼくは、はるの校がい学しゅうで見たクジャクをかきました。もし、ぼくが小人だったらとかんがえて、見ている人がたのしくなるようにがんばりました。

ふるさと十日町

茂木　ひより（もき）さん（2年）

わたしは、自分のそだった十日町のことを絵にかきました。十日町びょういん、あぶしま小学校、さくら公園などです。

会えてよかった

吉澤　柊（しゅう）さん（3年）

ぼくは、「にじいろのさかな」の本を読んでこの絵をかきました。岩の色をていねいにぬるのをがんばりました。

シャボン玉に乗って花火を見に行こう

古澤　向日葵（ひまり）さん（4年）

マトリョーシカのようせいといっしょに、景色を見に行くというテーマで描きました。ていねいに色をぬりました。山からあがる花火が気に入っています。

むずかしかった稲刈り

酒井　翼（つばさ）さん（5年）

ぼくが稲刈りの絵で工夫したのは服のしわです。しわの形をかくのがむずかしく、色をぬるときはしわの線をぬりつぶさないようにしました。

ロボット兵

廣田　桂大（かなた）さん（6年）

このロボット兵は、天空の城ラピュタで自然を守るロボットを元にして作りました。十日町の自然がもっとキレイになったら良いなという思いで作りました。

市民の動き

■人口 58,902人（−67）男 28,649人（−30）女 30,253人（−37）
■世帯数 20,125世帯（−22）11月末現在（ ）は前月からの増減